様式２

| 番号<br>観点 | 発行者の番号・略称 | 使用学年 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|---|---|---|---|---|
| | 6・教図 | 第１・２・３学年<br>家庭分野 | 家庭・725 | 新技術・家庭　家庭分野 |
| 取扱内容<br>（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等） | ○　「Ａ家族・家庭と子どもの成長」<br>　これからの家族関係を考えられるように、家族の役割や家族・地域との関わり方について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　「Ｂ食生活と自立」<br>　中学生の食生活に関心をもち、生活の中で食事が果たす役割を理解できるように、中学生の１日分の献立について考えたり、肉や魚、野菜などの調理をしたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　「Ｃ衣生活・住生活と自立」<br>　実生活の中でも実践できるように、安全な住まい方の工夫や自然災害への対策について考えたり、洗濯機を使った洗濯や、エプロンやきんちゃく袋などを製作したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　「Ｄ身近な消費生活と環境」<br>　消費者として主体的に行動できるように、消費者トラブルの解決法と予防法について理解を深めたり、消費行動が環境に与える影響を考えたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　知識・技能の習得、活用、探求への対応<br>　「だれかのためにお弁当をつくってみよう」や「地域でボランティア活動をしよう」など、学習を通して習得した知識や技能を活用する学習活動が取り上げられている。 | | | |
| 内容の構成・排列、分量等 | ○　内容の構成・排列<br>　全国各地の郷土料理や日本全国のお雑煮マップ、日本各地や世界の特徴的な住まいの写真資料を取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成するなど、系統的、発展的に学習できるような工夫がなされている。<br>○　内容の分量<br>　「Ａ家族・家庭と子どもの成長」は 65 ページ、「Ｂ食生活と自立」は 78 ページ、「Ｃ衣生活・住生活と自立」は 78 ページ、「Ｄ身近な消費生活と環境」は 64 ページであり、総ページ数は 286 ページで、前回とほぼ同様となっている。 | | | |
| 使用上の配慮等 | ○　「コラム」を掲載し、キャラクターが学習のポイントを示して、生徒が親しみをもって学習できるようにするとともに、食品や子どもの手形などを原寸大写真で示したり、料理の失敗例を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。<br>○　生徒が必要に応じて調べたり、確認したりしながら自主的に学習を進めることができるよう、「自立度チェック」や「キーワードチェック」欄など、教科書の記述についての詳しい資料を掲載したり、学習課題を解決する際に、本文の内容をより深く理解する上で参考となる内容に「参考」や「調べよう」のマークを付けて掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。<br>○　全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色にするとともに、巻頭に、家庭分野の学習内容や学習の進め方、教科書の使い方を掲載し、生徒が３年間の学習の見通しをもつことができるようにしたり、今日的な課題に関する学習内容に「安全」「環境」などのマークを付けたりするなど、使用上の便宜が図られている。 | | | |
| その他 | ○　北海道と関連ある教材は、「日本全国お雑煮マップ」など５箇所取り上げられている。<br>○　学習内容の理解度を確認することができるように、各内容に「学習のふり返り」として確認問題を設定している。<br>○　食品成分表と実習例には、食品群の分類をサイコロマークで表し、分かりやすく表記している。 | | | |